

科目名		担当教員名	学期
ビジネスアカウンティング Business Accounting		紺野 剛	夏季 集中
目的	財務諸表を作成し、利用するために必要な基本的な会計知識と経営成績の理解力を、各社の公表財務諸表等の学習・分析を通じて習得することを目的とする。		
概要	財務諸表がどのように作成されているのかを理解し、財務諸表等から得られる会計情報から、どのように経営成績を理解し、活用するのかを学習する。前半は特定の会社の財務諸表等を EDINET 等から入手し、当該会社の財務諸表の作成原理・会計方針等を理解する。後半は、これを受けて財務諸表の構成要素ごとの経営成績を正しく理解するために、特定の会社の経営成績を学習・分析する。		
到達目標	財務諸表の作成原理ならびに業績評価を行うための基本的な会計および分析力を理解するとともに、財務諸表の作成・分析結果を効果的なプレゼンテーションに結び付けることができること。		
成績評価の 基準と方法	「ビジネスアカウンティングのケース」に関する発表（40%）、中間理解度チェック・最終理解度チェック（40%）と授業での発言等（20%）で評点をつけ、A（20%）、B（40%）、C（30%）、D（10%）の比率を目安として相対評価する。		
履修条件	「財務会計概論」を修得済みであるか、もしくは同程度の会計知識を有していること。		
<b>授業計画</b>			
第1日	ビジネスアカウンティングの概要 財務諸表の基本的フレームワーク 財務諸表の構成 財務諸表の開示制度と意義 会計、会計規制、会計基準と会計情報		
第2日	各種財務諸表の作成原理 財務諸表の作成原理と会計方針 個別財務諸表と連結財務諸表 連結財務諸表の作成と結合会計 中間理解度チェック		
第3日	IFRSs（国際財務報告基準）の基本構造と影響 特定企業を対象とする作成者側からのプレゼンテーション		
第4日	財務諸表分析のフレームワーク P/L分析のためのフレームワーク B/S分析のためのフレームワーク 経営分析のフレームワーク 総合業績分析のためのフレームワーク		

<p>第5日</p>	<p>キャッシュフロー分析のためのフレームワーク セグメント情報分析のためのフレームワーク 経営戦略・活動と会計情報の関連分析 最終理解度チェック</p>
<p>第6日</p>	<p>事例研究に基づく財務・経営分析 特定企業を対象とする利用者側からのプレゼンテーション ビジネスアカウティングの総括</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p><b>【参考書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『要説経営分析 五訂版』青木茂男他著（森山書店、2016年）</li> <li>・『IFRS 財務諸表の読み方』石田正他著（中央経済社、2011年）</li> <li>・『経営分析入門』大津広一著（ダイヤモンド社、2009年）</li> <li>・『企業分析』岸本光永監訳（中央経済社、2002年）</li> <li>・『新・経営資源の測定と分析』紺野剛著（創成社、1994年）</li> <li>・『企業分析入門』齊藤静樹監訳（東京大学出版会、1999年）</li> <li>・『新版経営分析事典』日本経営分析学会編（税務経理協会、2015年）</li> <li>・『IFRS の考え方と実務対応』日本公認会計士協会編（日本公認会計士協会出版局、2010年）</li> <li>・『経営分析ハンドブック』日本経済新聞社他編（日本経済新聞社、1987年）</li> </ul> <p>上記以外は、必要に応じて指示する。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>最終理解度チェックにおいては、電卓を使用する。</p>